

この会報も 60 号を迎えることになりました。毎月発行してありますので5年間継続できたことになります。振り返ってみるに、高碕翁に興味を持ったのが7年ほど前、伝える責任を感じ“高槻名誉市民を語り継ぐ会”(呼名:語り継ぐ会)を設立したのが5年前になります。語り継ぐことはこの世における人としての責任であるとの考えです。そして我々の責任の重さから2年前にNPO法人としました。さらに高碕翁を検証する中で、別の集まりとして“高碕達之助に学ぶ会”(呼名:学ぶ会)を昨年設立し、現在150名ほどの会員がいらっしやいます。

『古きものは古きがゆえに尊い』の思いで、目的である品格と誇りをもった市民風土の構築を目指して活動を続けていきます。少しずつ前進できればと思っています。

ご援助のほどよろしく願いいたします。(馬淵)



語り継ぐ会の人

速報！！

はるばる北海道根室から来たる！

高碕翁の偉業を語るべく

この高槻に！！

講演:『納沙布岬から高碕翁の思いに感謝し』

日時:令和1年6月14日(金)14:30～

講演者:歯舞漁業協同組合

伊藤康彦専務理事

場所:高槻市立生涯学習センター研修室

*先着 50 名様

『高碕翁の納沙布での功績とは』

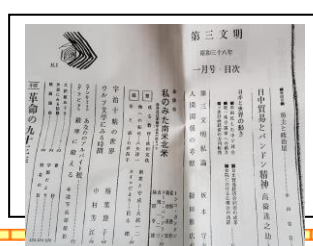
ソ連は戦後法的根拠のないままに貝殻島と水晶島との中間を国境線と決めた。貝殻島付近では日本漁民が拿捕されその数は数千人に上った。高碕は北洋安全操業の問題こそ自分の余性にかけて最大の責任と考え、病気を押しつけて交渉を重ね、ついに善隣友好の道を開いた。1963年から漁船が出港することが出来た。今も納沙布岬には高碕翁の功績をたたえ、「高碕達之助先生顕彰碑」が建てられ、この地の人々に感謝されている。

■第11回高碕達之助研究会

さる3/4(月)高槻クロスパル会場 Pm2:00～4:00にて“映像でみる高碕達之助”と題し馬淵代表(語り継ぐ会)、また“日中友好の先駆者としての高碕達之助”と題し、小野研究員の発表があり、高碕翁の偉大な側面を残された映像、またNHKが過去編集し放送した映像、あるいは当会自ら関係の現地に赴き、翁の功績を知る語り部に語っていただいた内容等々の発表がありました。

そして戦後バンドン会議(1955年)から、日中LT貿易覚書発行(1962年)に至る間の翁と創価学会との交流から、創価学会に残された貴重な資料にもとづき発表していただきました。(宮本)

項目	題名	今回放映分	全体の収録
講演	高碕翁	8分55秒	24分11秒
高槻市歴史公園	高碕翁	6分40秒	22分16秒
高槻市歴史公園	映像(高碕翁)	2分42秒	29分42秒
高槻市歴史公園	高碕翁	6分22秒	6分22秒
高槻市歴史公園	高碕翁	3分15秒	42分37秒
高槻市歴史公園	高碕翁	11分39秒	26分28秒
高槻市歴史公園	高碕翁	7分12秒	7分12秒



■2019年度講演予定(語り継ぐ会・学ぶ会)

今期課外研修を6,8,10,12月で行います。詳細は後日になりますが(交渉中)、多数の参加をお待ちしています。

6月(決定):「納沙布岬から高碕翁に感謝し」

8月中旬:東洋製罐(株)工場訪問

高碕翁が設立した工場を見学し、高碕イズム・缶のでき方を見学する。

10月中旬:岡崎嘉平太記念館を訪ねて

LT貿易において高碕翁と貢献した。岡山に高碕翁との業績を学ぶ。

12月上旬:高碕記念館などの関係個所訪問(なお、語り継ぐ会は5,7,9,11月も例会実施)

■例会ご案内(4,5月)

4/1:「高碕翁を語る」

3氏によるパネルディスカッション

4/15:高槻市の風景語る～寒天作り～

中川塾長

5/6:「高碕翁を語る」～高碕と高山・押川～

北村塾長

【語り継ぐ会連絡先】 馬淵晴彦

FAX:072-689-3674

メール:h_mabuchi@office.zaq.jp

HP: <http://takatuki-meiyu.sakura.ne.jp/>

NPO 法人

高槻名誉市民を語り継ぐ会